

# 議会だより

2017年7月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

☎ 090-5389-9936



高隈地区における田植え体験の園児



夏到来、高須海岸ではしゃぐ園児

朝顔やひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃、皆様には、お変わりなくお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私も3月議会以降は、関係する団体の総会や町内会活動、児童・生徒の交通安全立哨並びに所管事務調査などに奔走する傍ら、健康維持のためにサツマイモ「紅はるか」や「里芋」の植え付け、家庭菜園・枝物「シキミ・ヒサカキ」の手入れ等で汗をかき充実した日々を過ごしております。

また、多くの皆様と長年にわたり取り組んでいる「寿大通線北部地区整備促進協議会」が札元1～2丁目町内会を中心に、12団体の協力をいただき発足できました。

今後も、「心・力・顔」合わせを行い、地権者に寄り添い、県・市当局と連携して素晴らしい「都市計画道路、寿大通線」になるように頑張っております。

さて、鹿屋市議会6月定例会は6月9日から6月29日までの21日間開催されました。

今議会には、条例議案など17件、意見書2件、決議1件が提出され、慎重審議されました。

一般質問には17名が登壇し、次期市長選、ふるさと納税、道の駅、米軍再編交付金、教職員の働き方、認知症、有害鳥獣被害など「財政・農政・観光・建設・防災・福祉・教育行政」について45テーマに123件の質問がなされました。

私も「安心・安全なまちづくり、再生可能エネルギー、地域コミュニティ」について当局見解を求めました。

\*次期市長選については、就任時より5年から10年が鹿屋市・大隅地域の将来にとって重要な時期であると主張し、多くの市民との「語らいやふれあい」を通じて積極的に地域・まちづくりに参加するとともに、市民が仕事に「誇りと夢」を持った取り組みをしている姿勢を目のあたりにして、市政運営が着実に変化・始動しつつあることを感じている。

今後も、しっかりと将来を見据えたビジョンを描き、本気でチャレンジし、市民の幸せと地域発展に、「市民が主役の明るい未来づくり」へ手と手を携えて鹿屋市をさらに前進させるべく、来年1月施行の市長選に出馬したいと表明した。

合わせて、雇用の創出、所得の拡大につながる産業をおこすまちづくりや笑顔あふれる安心・安全なまちづくりなど5戦略の実績を報告した。

\*ふるさと納税については、平成27年度は、約4万件の約8億3千万円、平成28年度は、約7万件の約14億3千万円、平成29年度は前年度を上回る金額を目指している。本市の大きな財源となっている。

活用としては、これまで34件の事業に3億93百万円、平成29年度は、平和公園野球場整備に2億円、情報インフラ整備に1億5千万円など、全30事業に約8億円活用している。

\*道の駅については、農業の振興、6次産業化・広域観光の推進などに効果があると認識しているが本市では、霧島ヶ丘公園の活性化に向け、民間と協議して計画的に進めている。

このような中、「JA鹿児島きもつき」が笠之原町に農畜産物直売所やレストランなどの施設を計画されていることから連携を図っていきたい。

\*米軍再編交付金については、基地周辺地域の環境整備や市民生活の利便性向上、産業振興を図る事業に活用する。

平成27年度は、交付金約8千万円 がん検診など健康・福祉増進に活用している。

平成28年度は、交付金約5億3千万円 子育て支援、小・中学校の電子黒板、町内会活動に支援している。

平成29年度は、交付金約4億2千万円見込み 基地周辺の道路整備、公民館整備補助金、田崎GG場のトイレ、駐車場整備などを考えている。

# 平成29年6月議会質問並びに所感

## 1. ドライブレコーダーについて

- ① 自主防犯ボランティアの青パト(青色回転灯装備車)への補助は考えられないか。
- ② 燃料電池自動車の普及についての課題認識をどのように考えているか。
- ③ 防犯カメラ等の設置及び運用にあたってのガイドラインの作成についてどのように考えているか。

### (当局回答要旨)

- \* ドライブレコーダーは、公用車364台中22台装着（鹿屋市6%、薩摩川内市20.8%、霧島市12.9%）今後、計画的に導入する。
- \* 次世代自動車は、電気自動車1台、ハイブリッド車11台、今後、更新時に車種・価格、維持費など総合的に検討し判断する。
- \* 防犯カメラは、街頭に32台、イベント広場駐車場やコンビニエンスストア等にも設置されている。地域ニーズに沿う形で対応する。



車内に取付けた  
ドライブレコーダー

### 所感

ドライブレコーダーは、事故発生時における原因究明と責任の明確化、安全運転への意識向上などの効用に、さらに防犯カメラを広く設置することで地域における犯罪防止にもつながり、子供や女性を狙った犯罪の抑止や安全安心な地域づくりの推進に当たっての大きな役割を果たすものである。

一方、防犯カメラ並びにドライブレコーダーの設置により個人プライバシーが侵害されることがないようにガイドラインの策定が必要と思っている。

## 2. 再生可能エネルギーについて

- ① 電気自動車の導入に当たっての検証と評価をどのように考えているか。
- ② 急速充電機の設置については、過去の議会回答で霧島が丘など観光施設に検討すると述べられたが結果はどうなったか。
- ③ 未来の「水素社会の実現」へ向けての燃料電池自動車(FcV)の県下の採用状況は。
- ④ 本市におけるメガソーラーの設置状況と出力は並びに本市の公共施設への取付状況は。
- ⑤ 本市の太陽光発電など過去3年間の償却資産税はどのようになっているか。
- ⑥ 本市の地域新エネルギービジョンの策定から相当な期間が経っているが見直す考えはないか。
- ⑦ 鹿屋・大崎ソーラーヒルズ太陽光発電所の概要と本市への経済的貢献をどのように想定しているか。

### (当局回答要旨)

- \* 太陽光発電施設を市営住宅や学校並びに支所、防災拠点施設などに設置し、今後は国・県の動向を把握し補助事業の活用を図り、計画的に導入する。
- \* 笠之原地区畑地かんがい整備促進協議会にて説明を受けた。改良区の運営の改善に寄与すると認識するので関係機関と十分な協議を行い進める。
- \* 太陽光発電設備における償却資産税は、平成27年度 約1億9,600万円、平成28年度 約2億4,500万円、平成29年度5月現在 約3億1,300万円である。



鹿屋・大崎ソーラーヒルズ  
太陽光発電所

### 所感

環境教育や防災性能より太陽光発電など自然エネルギーの活用の取り組み、再生可能エネルギーの普及・推進することは持続可能な社会の形成に大いに貢献すると思料している。

高齢化・担い手不足などの課題が生じている笠野原土地改良区は、土地改良施設の維持管理の負担増に対応するためにも高隈第二発電所の発電した電力や余剰電力の売電により、維持管理費等の軽減を図るための有効手段であること、合わせて農家(組合員3,700人)への間接的な支援になることから大きな期待をしている。

## 3. 地域コミュニティについて

- ① 町内会活動をどのように捉えて、役割をどのように求めているか。
- ② 防犯灯の町内会への3灯以内一律補助は見直しすべきだと思うが。
- ③ 地域サポート職員の総数と活動状況並びに位置づけはどのようになっているか。
- ④ 本市における職員の町内会への未加入者数と対応をどうしているか。
- ⑤ 宅建協会との協定による未加入対策状況はどのようになっているか。
- ⑥ 地域コミュニティのモデル校区、吾平・高隈協議会での運用などの検証をどのように生かして取り組んでいるか。
- ⑦ 自主性や自立できる機運が盛り上がった地域の判断と行政の支援策は、どのようなものが考えられるか。



吾平地区活動状況

(当局回答要旨)

- \* 町内会の機能維持に必要な世帯を100世帯として統合・再編してきた。
- \* 合併時の308町内会が152町内会に再編され、100世帯を下回る町内会が53町内会ある。
- \* アンケート調査では、構成員の高齢化や役員のなり手がいない、未加入者の増加などの課題が挙げられている。
- \* 地域課題の解決するため、「町内会活力推進交付金」に「ネットワーク推進事業交付金」を新たに創設した。
- \* 地域コミュニティ協議会は、吾平・高隈地区で設立され活動をしている。
- \* 吾平地区では、空き店舗を活用した「コムスポあいら」、自然を生かしたトレッキングモニターツアーの実施、人材育成の「吾平塾」など実施している。
- \* 高隈地区では、高齢者の買い物支援の「ドライブサロン」、高隈産の素材を利用した「山菜弁当」ツアーの企画など実施している。
- \* 吾平・高隈両協議会の取り組みを検証しての課題は、協力者の確保や自主財源の確保などである。
- \* 地域担当職員制度については、地域サポート職員制度(181人)の充実を図り、地域と行政の橋渡し役として参加する仕組みを構築する。
- \* 宅建協会と協定による未加入者対策については、町内会加入促進に関する協定を締結しており、研修会の開催、意見交換会、訪問などを通じて加入促進をお願いしている。



高隈地区活動状況

所感

少子高齢化や連帯意識の希薄化など、共助・公助の意識低下から町内会未加入者の増加などにより、地域コミュニティの維持が厳しい状況のなか、東日本大震災・土砂災害などを通じて、改めて「地域の絆」を再認識します。

町内会活動の活性化、地域コミュニティの推進に、市民・地域・行政が協力・連携のもと、将来にわたり「心豊かで、安全・安心な地域づくり」がより一層、肝要であると考えます。

- \* 詳細な質問要旨・当局答弁は紙面の都合上、一部しか掲載できませんので鹿屋市の「ホームページ」や「議会だより」をご覧ください。

6月議会一般会計補正予算(額△528,775千円)の概要

戦略1 雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり・・・事業費 106,696千円

- ・がんばる畑作応援事業(新規) 106,696千円  
(農業法人南橋商事「かのや紅はるか」の集出荷彫像施設整備に要する経費の一部補助)



予算委員会風景

戦略2 笑顔あふれる安心・安全なまちづくり・・・事業費 19,999千円

- ・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業(新規) 19,999千円  
(高隈地区コミュニティ協議会が地域内外との交流活動を行うため既存の「石ぐら」などを整備し、集落機能の維持・活性化を図る)



JAの石蔵を改修

戦略3 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり・・・事業費 68,530千円

- ・鹿屋女子高等学校施設整備事業(新規) 68,530千円  
(平成32年4月供用開始に向けて、基本設計・実施設計・地質調査などに要する経費)

戦略4 安全で快適に暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・事業費 △724,000千円

- ・防空壕対策事業費 6,000千円  
(城山公園法面の防空壕の埋め戻し工事)
- ・輝北地区の道路災害復旧(8件) 20,000千円
- ・輝北地区の農地災害復旧(500件) 99,000千円
- ・道路橋梁河川過年発生補助災害復旧事業 △849,000千円  
(市道2路線や橋梁8橋の補助災害復旧事業にかかる国庫補助金が平成28年度に前倒し交付されたことによる所要減額)

## 平成29年6月定例会 議案一覧及び結果

議案番号	議案名	結果等
議案 第35号	鹿屋市税条例及び鹿屋市都市計画税条例の一部を改正の専決処分 軽自動車グリーン化延長 肉用牛売却所得の免税3年間延長	承認
議案 第36号	鹿屋市国民健康保険税条例の一部を改正の専決処分 軽減判定所得の引上げ	承認
議案 第37号	鹿屋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正の専決処分 扶養親族加算額及び加算対象区分	承認
議案 第38号	平成28年度鹿屋市一般会計補正予算(第10号)の専決処分 補正額 40,772千円	承認
議案 第39号	リナシティかのやバス待合所条例の制定 開設 平成29年9月中旬 利用時間 午前5時30分～午後8時30分	原案可決
議案 第40号	鹿屋市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児休業の再度の取得ができる特別事情の追加	原案可決
議案 第41号	鹿屋市工業開発等促進条例の一部改正 過疎地域自立促進特別措置法及び半島振興法関連	原案可決
議案 第42号	鹿屋市浜田研修館条例の廃止 所期の目的達成	原案可決
議案 第43号	鹿屋市子育て支援住宅条例の制定 子育て世帯・新婚世帯等への配慮	原案可決
議案 第44号	財産(建物)の無償貸与 菅原小学校 1,762㎡無償貸付(株)カスター 貸付期間 平成29年11月～平成34年3月	原案可決
議案 第45号	市道路線の認定、廃止及び変更 認定8、廃止1、変更5路線	原案可決
議案 第46号	桜ヶ丘市営住宅の指定管理者の指定 (株)オコヤスペース	原案可決
議案 第47号	平成29年度鹿屋市一般会計補正予算(第1号) 補正額 △528,775千円	原案可決
議案 第48号	平成29年度鹿屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 補正額 3,000千円	原案可決

報告番号	報告件名	報告年月日
報告 第9号	緑越明許費繰越計算書 25件 5,412,371千円	H29.6.9
報告 第10号	事故繰越し繰越計算書 1件 9,788千円	H29.6.9
報告 第11号	事故の和解及び損害賠償の額を定める専決処分 1件 24,840円	H29.6.9

### 寿大通線北部地区整備促進協議会の発足

都市計画道路「寿大通線」は、東九州自動車道や大隅縦貫道へのアクセスや域内の幹線道路として、平成7年度に計画決定し、平成9年度に第一期工事され(一里山から寿交番まで778M)を着手、平成18年度に完了し、以降補償費などから凍結された状態であり、国道269号交差点まで約660Mが未整備となっています。

当路線の現状は、寿北小学校や商業施設・医療施設などが立地し、東九州自動車道の開通により、交通量も増加し、地域住民にとっては危険性が増しております。平成27年11月に地元関係者の要望・陳情を県・市当局に行うとともに、平成28年11月の説明会や意見交換により、地域住民の安心安全と生活環境向上のために、早期整備を図るべく集約しておりました。

又、昨年12月に三反園県知事に現地視察をしていただくと共に整備促進を強く要請しています。

当日は、鹿屋市長・建設部長をはじめ、県の都市計画課、大隅振興局、県議員などの来賓を含め、約40名の参加のもとに協議会が進められた。

地元の札元1丁目町内会長の山下薩男氏を議長に、整備促進協議会会則や役員選出並びに当面の活動方針を決定後、県・市当局より進捗状況を聞き、意見交換を行い、計画幅員22Mを16M縮小への変更は、止むを得ないとして、交差点改良を含めて早期整備を図る活動を確認した。

皆様のご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

#### ◆協力団体

鹿屋市札元1丁目町内会	鹿屋市札元1丁目高齢者クラブ
鹿屋市札元2丁目町内会	鹿屋市札元2丁目さくら会
鹿屋市札元商工親睦会	鹿屋市立寿北小学校PTA
鹿屋市札元地区大通り会	鹿屋市立鹿屋東中学校PTA
鹿屋交通安全協会寿支部	鹿屋市札元地区児童民生委員
鹿屋市消防団寿分団	鹿屋市札元地区居住市議会議員

#### ◆役員

会長 山下 薩 男      副会長 森山 哲 男      副会長 森山 政 道  
事務局長 梶原 正 憲      監 事 西之園 実 秋



整備促進協議会発足式風景



寿大通線 陳情風景